



Lewis Carrollを知っていますか？ピンとこなくても彼の著作、『不思議の国のアリス』はなじみがある人が多いのではないのでしょうか。子どものときに絵本などで読んだことがあるものを英語で読み返してみるのもいいかもしれません。原題は *Alice in Wonderland* です。じつはこの作品、原書の英語が非常に難しいのです。ことばあそびをふくむ様々な修辞が凝らされており、読み解くのは容易ではありません。まずは今回紹介するやさしく書かれたヴァージョンを読んでみると良いでしょう。

**'This key has to open something,' she thought. (p. 3)**

今回紹介するのはこの英文。アリスはうさぎを追ってトンネルに入り、その先にあった穴に落ちてしまいます。穴の中にはテーブルがあり、そこでアリスは鍵を見つける。クオーテーションの部分は「この鍵で何かが開くに違いない」という意味です。has to [have to]の意味としてはやはり「～しなければならない」が代表的だと思いますが、この表現はそれだけでなく、「～に違いない」という推量の意味ももちます。

平易に書き換えられた英文を読むときは、表現上の見た目が簡単なので、もしかすると、このような学びのポイントに気づきにくいことがあるかもしれません。たくさん本をどんどん読み進めつつも、たまに立ち止まって「これはどういう意味なんだろう」とゆっくり考えてみるのもオススメです！

教材室（志学館5F）では  
「春休み」長期貸出しを行っています